

渡口初美の

# 琉球の家庭祭祀

― 年中行事・祖先供養・伝統料理 ―

いま再認識！

沖縄の情緒  
信仰と料理



美しい風土の中で育まれてきた沖縄の信仰と食生活。その床しさも年々薄れてゆき、沖縄に育った一人として残念でなりません。本書は料理家の立場から、郷土料理と代表的な御願立を編集しました。皆様にご利用いただければ幸いです。

# 渡口初美の琉球の家庭祭祀

## 年中行事

### 一月の行事

- 新年の祈願……………12  
お正月の火の神様への供え方……………13  
年頭又拝ミ 方言拝詞……………14
- 七日又節句……………17  
七日又節句 方言拝詞……………18  
おせち料理の由来……………19
- 朔日・十五日の御願……………20  
月々の朔日・十五日 供え方……………21  
朔日・十五日の祈願 方言拝詞……………22
- 新十六日……………25  
お墓で供える品……………26  
新十六日祭 方言拝詞……………27  
喪中の年始は遠慮する……………28
- 二月の行事……………29  
ウマチー……………30  
政治をゆきぶった神女 間得大君……………32  
本吉の監修……………34  
ウマチー 方言拝詞……………36

11

### 屋敷の御願

- ………38  
方位の神々 家の新築や移転……………39  
方位神に供える品々……………40  
屋敷の御願 供える品……………42  
屋敷又拝ミ 方言拝詞……………44  
喪中のお年玉……………46
- 彼岸祭……………47  
彼岸祭の供え方……………48  
彼岸又拝ミ 方言拝詞……………49  
不要になった御神札の扱い方……………50

### 三月の行事

- 清明祭……………51  
清明祭の供える品……………52  
清明又拝ミ 方言拝詞……………54  
墓での供え方……………56

### 四月の行事

- 味払・虫払……………58

57

## 五月の行事

- 五月ウマチー……………59
- ユツカヌ・ワイー……………60
- 五月五日……………60

## 六月の行事

- 六月ウマチー……………62

## 七月の行事

- 七夕……………64
- お盆供養……………64
- お盆の準備……………65
- 位牌と香炉の御清拭……………65
- ソーローバーシ……………66
- ソーロー馬……………66
- ソーローホーチ……………66
- サーターウージ……………66
- 果物……………67
- ガンシナー……………67
- カビジン(紙饅)……………67
- 御迎え……………68
- 精霊迎え 供え方……………69
- 御迎え 方言拝詞……………70
- 十三日の仏供膳……………71
- 十四日の仏供膳……………72

## 精霊送り

- 精霊送り 方言拝詞……………74
- 新盆の供養……………76
- お供えする品……………76
- 新盆の供養 方言拝詞……………77
- お盆と正月はもとは同じ意味を持つ行事であった……………78
- 厄年と厄年の祝い方……………78

## 八月の行事

- 八月の屋敷の御願……………80
- 十五夜……………80
- 八十五又祝イ……………81
- 八十五又祝イ 方言拝詞……………82
- 八十五又祝イは終い年日……………84

## 九月の行事

- 菊酒の節句……………86
- 菊酒の節句の供え方……………86
- 菊酒と拝ミ 方言拝詞……………87

## 十月の行事

## 十一月の行事

## 十二月の行事

- 御願解き……………92
- 御願解きの供え方……………93
- 御願解キ 方言拝詞……………94
- 拝詞を唱えるときの心得……………96
- 鬼餅……………97
- 十二月・屋敷の御願……………97

- 年終イ又祈願……………98
- 年終イ又祈願 供え方……………99
- 年終イ又拝ミ 方言拝詞……………100
- 除夜の鐘が鳴り終わると正月……………102
- 祭祀にかかせないピンシー……………103
- 御幣の作り方 ヒキザイ……………104
- 神々に供える白紙のつくりかた……………104

# 御火の神様

## 御火の神様

### 「御火の神様」の建立

- 火の神……………108
- 御火の神様 建立の供え方……………109
- 御火の神様 建立祈願 方言拝詞……………110
- 一軒の家に両親と、長男の二所帯がある場合……………112
- 御火の神様建立の巡拝の順位……………113
- 御火の神加那志様 供え方……………114

### 「御火の神加那志様」の世絶

- 御火の神様の分香が……………116
- お供えする品……………117
- 線香……………117
- 御火又神様 世絶又祈願 方言拝詞……………118
- 御火又神様 世絶又祈願 方言拝詞……………120
- 「御火の神様」新居への御供案内……………120
- お供えする品……………120

## ウミナムン

- 御仏供……………121
- 白紙白墨……………121
- 御火又神加那志様 御供案内 方言拝詞……………122
- 昔の落成祝い……………124

## 旧家屋への感謝の祈願

- お供えする品……………125
- 旧家屋への感謝祈願 方言拝詞……………126
- 他家から預かる位牌は三年後に入居……………128

## 前売繁盛の御願

- 巡礼の場所……………129
- 前売繁盛を祈願する拝所……………130
- 前売繁盛の祈願 方言拝詞……………132

## 旅立ちの安全祈願

- 拝所の順位……………135
- 旅立ちの安全祈願……………135
- 旅立ち又安全祈願 方言拝詞……………136

## 祖先供養

- 旅立ちの御願 供え方……………138
- 無事帰還の御礼の願立  
お供える品……………139
- 十八夜拌み……………140

- 五穀の観音様 お供える品……………140
- 「翁者の一灯」心からの感謝の気持ち  
十八夜の祈願 方言拝詞……………141
- 五穀の観音様……………144

- 墓の祝い……………148
- 三十二年忌 終り焼香……………150
- 葬式後の主な法事……………152
- 冥界への道……………154
- 「七ツ日」の法事……………154
- 「初ツ七日」……………154
- 「初ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………155
- 「二ツ七日」……………157
- 「三ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………157
- 「三ツ七日」……………159
- 「三ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………159
- 「四ツ七日」……………161
- 「四ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………161
- 「四十九日」の仏事まで 死者の日用品を焼く……………163
- 「五ツ七日」……………164
- 「五ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………166
- 屋敷の払戻い清め……………166
- 「六ツ七日」……………167
- 「六ツ七日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………167

- 「四十九日」……………170
- 「四十九日」 飯祭壇又御願 方言拝詞……………171
- 墓又戸止ミ……………173
- 墓又戸止ミ又祈願 方言拝詞……………173
- 「百カ日」まで霊供膳を供える……………175
- 「百カ日」……………176
- 「百カ日」又御願 方言拝詞……………176
- 「百カ日」の法事……………178
- 若焼香……………179
- 一年忌の法事……………180
- 一年忌又祈願 方言拝詞……………182
- 一年に一度の「祥月命日」とは……………183
- 三年忌の法事……………183
- 三年忌又祈願 方言拝詞……………186
- 七年忌の法事……………186
- 七年忌又祈願 方言拝詞……………189
- 十三年忌の法事……………189
- 十三年忌又祈願 方言拝詞……………192
- 二十五年忌の法事……………192

## 伝統料理

- 結納料理……………202
- 結納料理……………204
- 正月料理……………208
- 十六日祭の供え料理……………210
- 行事料理……………212
- 御清明重箱……………214
- 玉御殿・伊是名のウシーミー……………218
- 彼岸料理……………220
- 三月御重菓子と料理……………222
- お盆料理……………224
- 豚肉の煮しめ……………228
- 魚の天ぷら……………229
- 揚げ豆腐……………230
- 昆布の煮つけ……………230
- 昆布の手網返し……………231
- 昆布巻（その1・その2）……………232
- ごぼうの煮つけ……………233
- ごぼう巻……………234
- モズク天ぷら……………235
- 田芋の小判揚げ……………236

- 二十五年忌又祈願 方言拝詞……………195
- ご祝儀袋は子孫繁栄の証……………192

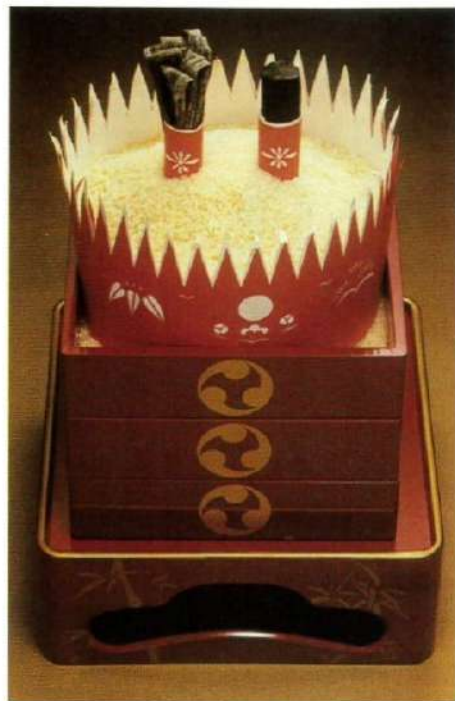
- 三十三年忌の法事……………196
- 三十三年忌 終御焼香の祈願 方言拝詞……………196

- 田芋から揚げ……………236
- 三月菓子……………237
- サーター・アンダーギ……………238
- ナントンスウ……………240
- ムーチ……………242
- 白アンダーギ……………244
- フチャギ……………245
- チンビン……………246
- ホーホ……………247
- スーチカー……………248
- 焼き塩……………249

- 父・高良一（旧名・多嘉良思信）……………250
- 沖繩モノレルの父 仲村順……………251
- あとがき……………255

## ● 新年の祈願（年頭の御願）

新しい年の初めに行う「火の神様」への一年間の福德と、健康の初拝みを「年頭御願」といいます。その日は、若水をはじめ、五穀（米、アワ、ムギ、アズキ、大豆）などをお供えして、家族の一年の福德と健康を祈願します。続いて仏壇の前に集まり、全員で年頭の「ウートートウ」をしてから、家長よりお酒（お屠蘇とそ）をいただきます。祝肴として手のひらに、豚の耳皮ヒナカと豚の肝チムと、黄金塩クカマラスが配られます。年頭の祝肴です。



### ● 御花米の飾り方

重箱を三段重ね（四重・五重もあります。丸盆でもよい）、のし紙の上にお米を入れ炭と昆布をのし紙で巻いて、米の中央に飾り立てます。鏡餅は本土風のお供え方、お米を供えるのは沖縄に古くから伝わる正月の飾り方です。

## ● お正月の火の神様への供え方



- 香分
- 赤まんじゅう
- 塩
- みかん
- 酒
- ピンシー
- 水
- 五穀
- 赤ウブク
- (麦・アワ・
- 七キザイ
- アズキ・大
- 赤・白・黄紙
- 豆・青豆
- ウチャヌク
- 白紙・米

一般的には十二本・三本で祈願します。

『サリ・ウートートウ』

クンドウ ユーアキサビテイ  
今度：夜明キサビテイ：○○年又：正月デービル

チネーサンムトウヌ ムチスクカラ イチニンヌ カリユシヌ  
○○家内産元又：所帯主カラ：一年又：嘉例吉又

ウグワンダテイサビラ ミヒヌカンガナシメーニ ジュウダンヌウスリ  
御願立サビラ：御火又神加那志様ニ：十段又御蔵入り

ヒヤクダンヌウスリ マンダンヌウスリ アギヤビテイ  
百段又御蔵入り：萬段又御蔵入り：申上ヤビテイ

ナンジャ、ウビンス クガニ、ウビンス タマヌサカジチ クンゴウミハナ  
白銀ウビンス：黄金ウビンス：魂又盃：九合御花米

ナナマンゲワンヌクバンチン ウチャヌク、カガンデー カリユシヌマンジュウ  
七萬貫又黄金錢：白餅鏡餅：嘉例吉又饅頭

ナンジャ、クニブ クガニ、クニブ シルハクシ、ナンジャ スーヌハナ  
白銀クニブ：黄金クニブ：白紙白銀：潮又花

ナミヌハナ ウカギヤビテイ カサバ十二フン 三フンヌ ウマーシ  
波又花：献供ヤビテイ：線香十二本・三本又：連帯

コウブンヌウヒカリアギヤビテイ、タマヌイトウカラ ナンジャヌチルバン  
香分又御輝り灯明ヤビテイ魂又祈願カラ：白銀又宇宙波動

カキ  
念通ヤビテイ：御太陽加那志様：御月加那志様

ジュウニシヌヌフアヌ ウカミガナシー アミチユヌウミグミ  
十二支又方位又：御神加那志様：雨露又御恵ミ

グクケヌウミグミ ウタビミソーリ  
五穀又御恵ミ：果報ソーリ

『サリ・ウートートウ』

イチニンサンビヤク、ルクジュウグニチ  
一年二百六十五日

ニノージュウニカジチ チチエサンジュウニチ カミチチ ナカチチ シムチチ  
年ノー十二月月：月エ三十日：上月：中月：下月

ファイビーヌイトナミ ヒルヌムトウジン ユルヌムトウジン  
日々又営ミ：昼又時間：夜又時間

ウマムイヂ ユラサ ウカクイヂ ユラサ ウタビミソーチ スニン  
御守護チユラサ：御加護チユラサ：果報ソーチ：衆人

マンニントウヌ エースエーゴウ チネーワゴー カラダガンジュウサ  
万人トウヌ：親睦和合：家内和合：身体健康サ

ドワーガンジュウサ ウタビミソーリ  
精神頑丈サ：果報ソーリ

『サリ・ウートートウ』

「サリ・ウートトウ」

〇年のお正月になりました。〇〇家の所帯主より一年のお祝いを申し上げます。旧年中は一年三百六十五日もお守りくださりありがとうございます。今年も家族全員、健康で幸福に暮らせるようにお守りください。

### 若水

元日の早朝に、初めて汲む水のことを「若水」といいます。若水は人を若返らせる生命の水として「御火の神様」「神棚」「仏前」にお供えます。現代は、ほとんどの家庭に井戸はなく、水道の水で若水ということになります。地方では、村落の共同井戸や産井戸（ウブガー）などから、早朝に汲んできた水を若水とします。これまで「若水汲み」は、その家の主人または年男が汲むのが習わしでした。また、女性の場合は早朝を避け、年男が汲んだ後の午後に汲むのが習慣づけられていたようです。「若水」のことを「ミーミジ」「ハチミジ」「ワカウビ」などと呼んでいます。

## ナンカ 七日ヌ節句

一年中の健康を祈願します。首里、那覇では野菜を煮込んだ「ジューシー」を炊き、祖霊にお供えして「ウートトウ」します。

地域によっても異なりますが、知念、玉城方面では「受水、走水」「御穂田」「浜川御嶽」「ヤハラ・チカサ」「知念大川」「玉城男川女川」を巡拝して「七日ヌ節句」の行事を執り行います。

この行事の始まりは、中国の唐の時代のもので、「正月七日に七種類の若菜を羹あつものにして食すれば一年中の病が免れる」として無病のまじないからきたものです。

一月七日の朝に食べる習わしがあります。

# 行事料理

## ●重誥料理について

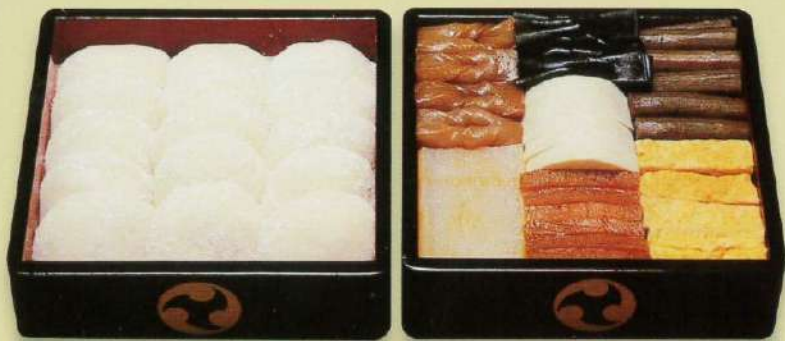
重誥料理とは、各門中、各家庭によっていろいろと違いがあり、特にクニダの重誥料理は、御三味と称し、豚肉、魚、鶏を酢の物にして詰め合わせます。本島の重誥のように揚げ物、煮物はありません。

また、伊是名の玉御殿の「ウシーミ」も重誥の料理はなく、豚の頭、アヒル、魚の塩漬けと果物、菓子、キビ、ミカン等の供物でした。重誥料理は特別に取り決めはありません。真心を込めて詰めた料理が本物の我が家の重誥料理といえるのです。

## ●法事の重誥料理

法事の場合の料理は、一般的に薄味にし、豚肉は必ず豚三枚肉の部分を使います。田芋・赤かまぼこ等の祝い料理は詰めません。(二十五年忌、三十三年忌の大焼香の場合は詰めます)。

これにも特別な決まりはありませんので、料理の品々より、重箱が派手にならないように、赤かまぼこを白にしたり、重誥めの料理の高さを重箱の表面より一、二段下ろして詰める方法をとっているようです。



● 法事の重誥料理

## ●重誥料理

「最近では、重誥料理を手作りで、という家庭が少なくなりました。おかげで、仕出し屋さんでは重誥料理に追われて、大忙しの大繁盛です。」

しかし沖縄の年中行事には重誥料理は、なくてはなりません。一生涯、仕出し屋さんにお願いばかりでも、女性として、また母親の生き方として、あまり感心したものではありません。

昔も今も、料理は心です。手作りの料理をつくって、家族に安心して食べてもらいましょ。



重誥料理(九品)

- 揚豆腐
- ごぼう
- エビフライ
- 田芋の唐揚
- カステラ
- 魚の天ぷら
- 豚三枚肉
- 昆布巻
- 赤カマボコ